



杉本市長とのじゃんけん大会では、多くの参加者が一喜一憂

ふらっと、「そらっと」に来てね

■道の駅「そらっと牧之原」来場者50万人達成イベント

道の駅「そらっと牧之原」の来場者50万人を達成したことに伴う記念イベントが12月14日に道の駅で開かれました。

令和7年7月18日に市内で初めて開駅した同駅は、連日県内外から多くの人が訪れ、当初想定の4倍以上の速さで来場者50万人を達成。イベントでは、市の特産品を集めた「特産品フェア」や、「市長によるじゃんけん大会」が開かれ、市長に勝った人には、道の駅の人気商品詰め合わせなどの一足早いクリスマスプレゼントが贈られました。

老若男女誰でも吹き矢を楽しむ

■市制施行20周年記念「第20回牧之原市長杯 干支吹き矢大会」

「第20回牧之原市長杯 干支吹き矢大会」が12月14日、静波体育館で開催されました。

これは、年齢を問わず誰でも楽しめるスポーツ吹き矢大会として、最年少の4歳から最年長の90歳まで過去最多となる114人が参加。参加者は3人1チームとなり、チームごとに得点を競い、優勝者にはトロフィーと大きな拍手が送られました。

なお、使用された道具は、矢の先端が磁石でのが鉄板になっており、市内業者が改良を重ねて開発したものです。



市内業者が開発した吹き矢で的を狙う参加者

ウェルビーイング(身体・精神・社会的に良好)向上へ

■ウェルビーイング推進に関する包括連携協定

市と一般社団法人日本最適化栄養食協会は12月17日、ウェルビーイング推進に関する包括連携協定を締結しました。

これは、主要な栄養素がバランス良く適切に調整された「最適化栄養食」の普及を図り、人々のウェルビーイング向上を目的とした、全国初の締結。子どもも食料支援事業や子ども食堂、昨年の台風15号の時にも製品を提供いただきました。同協会の伊藤裕理事長は「食とウェルビーイングの課題と一緒に考えていきたい」とあいさつしました。



協定を結んだ伊藤理事長⑥と杉本市長

性別などによる固定的な思い込みを解消

■男女共同参画推進セミナー

市は、男女共同参画推進セミナー「カードで楽しく学ぼう！みんなのジェンダーバイアス」を12月14日、市役所相良庁舎で開催しました。

この会議はスクエアの橋本恵子代表を講師に迎え、身近にあるジェンダーバイアス（性別による固定的な思い込み）について話し合いました。

10代から60代までの20人が参加し、カードに書いてある題目についてグループで語り合い、異なる世代や性別の意見を聞くことで、多様な社会において新たな価値観を広げる機会となりました。



「ジェンダーバイアス」について語り合う参加者

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎0040 ☐koho@city.makinohara.lg.jp



ワールドフェスティバルにて、ネパールについて発表する児童

笑顔で楽しい思い出を

■児童企画のクリスマス会／細江小学校

細江小学校では12月10日、台風15号で被災した地域の復興を願い、クリスマス会を開きました。

「地元を元気付けたい」という6年生の思いから、コンサートなどが企画され、保護者や地域の人など延べ200人以上が訪れました。5年生は、通年で学習している国際理解について発表する「ワールドフェスティバル」を開催。ブラジルやペルーなど8カ国を調べ、郷土料理のレシピ配布やフォトスポットの設置、民族衣装の展示など、これまでの学習の成果を地域に発表しました。(関連記事19ページ)

復興を目指す希望の花を満開に

■復興応援イベント「希望の花を咲かせよう」

「花の寄せ植え教室」が11月30日、細江コミュニティセンターで開催されました。

これは、本市で育苗や花壇づくりの支援を続けている園芸研究家・矢澤秀成さんの「台風15号で被災した市や人たちを花で応援し元気にしたい」という願いから開催された復興応援イベント。

50人以上が参加し、100個のプランターにパンジーやビオラの苗、春に咲くチューリップの球根を植えました。プランターは同センターの敷地内や沿道に飾られ、春には地域を彩ります。



参加した子どもたちに球根の植え方を教える矢澤さん⑥

地域の足「バス」を身近に感じて

■自主運行バスで行く空港こどもプラツツア

「自主運行バスで行く空港こどもプラツツア」が12月13日に開催され、市内の小学生と保護者11組26人が参加しました。

これは、県内全ての小学生が無料でバスに乗車できる2日間限定「バス無料デー」に合わせて企画。

参加者は自主運行バスなどを利用し、富士山静岡空港とふじのくに茶の都ミュージアムを周遊。空港では、飛行機や空港での仕事について学び、普段入ることのできない制限区域や、石雲院展望デッキから飛行機の離着陸を見学しました。



バスで空港を楽しむ参加者



グループごとに課題や対策を書き出す細江区の本部役員

被災時を振り返り今後に生かす訓練を

■地域防災訓練

地域防災訓練が12月7日、市内各所で実施され、自主防災会が主催する訓練などに市民1万3,113人が参加しました。

各地区にて避難誘導訓練や簡易トイレなどの作成訓練、市は救護班による医療救護訓練、建友会と建設班合同で水防関係訓練など各班で訓練を実施。

細江区では、9月の台風15号による竜巻等被害を踏まえた課題整理と改善検討会を行い、南海トラフ地震が発生した際にどう生かしていくのかなど訓練を通して確認しました。